

15分で学ぶ！障がい者支援の基礎

特別支援学校における支援

講師：吉田 拓史

(東京都立板橋特別支援学校 進路指導部主任 主任教諭)

第三回

「都立特別支援学校の進路指導」

講義のポイント

今回の講義のポイントは・・・

- ① 3年間の進路計画
- ② 実習先の決め方について
- ③ 卒業後のフォロー

・・・となっています。

進路指導とは？

■ 進路指導の定義

進路指導は、本来、生徒の個人資料、進路情報、啓発的経験及び相談を通じて、生徒が自ら、将来の進路を選択・計画し、就職又は進学をして、さらにその後の生活によりよく適応し、能力を伸長するように、教員が組織的・継続的に指導・援助する過程であり、どのような人間になり、どう生きていくことが望ましいのかといった長期的展望に立った人間形成を目指す教育活動である。

(中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」(平成23年1月))

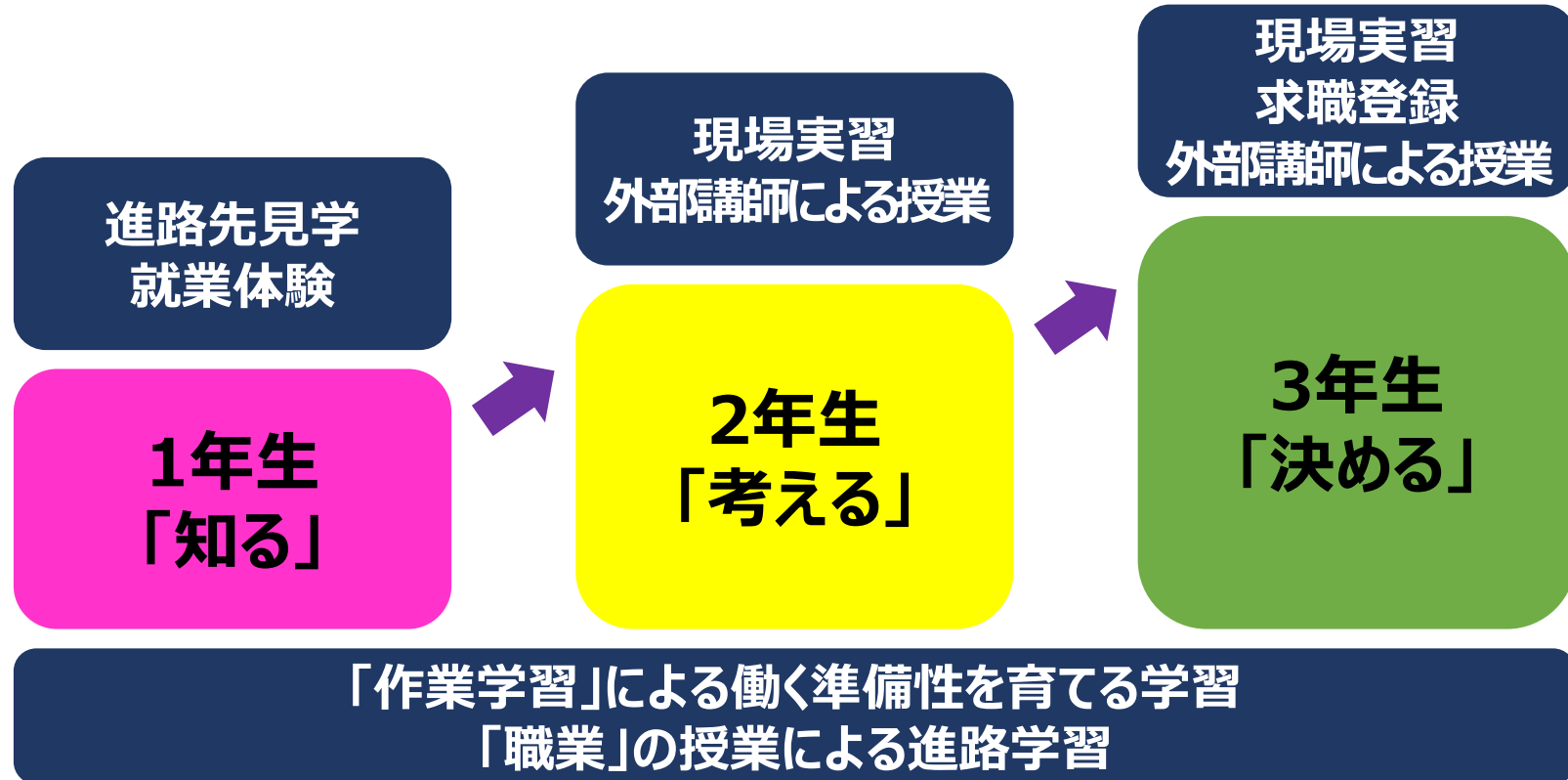
進路指導とは？

■ 進路指導の活動

- ① 生徒理解・自己理解
- ② 就職・進学 の指導と援助
- ③ 体験や経験の機会
- ④ 進路相談の機会
- ⑤ 進路情報の提供・提案
- ⑥ 定着支援

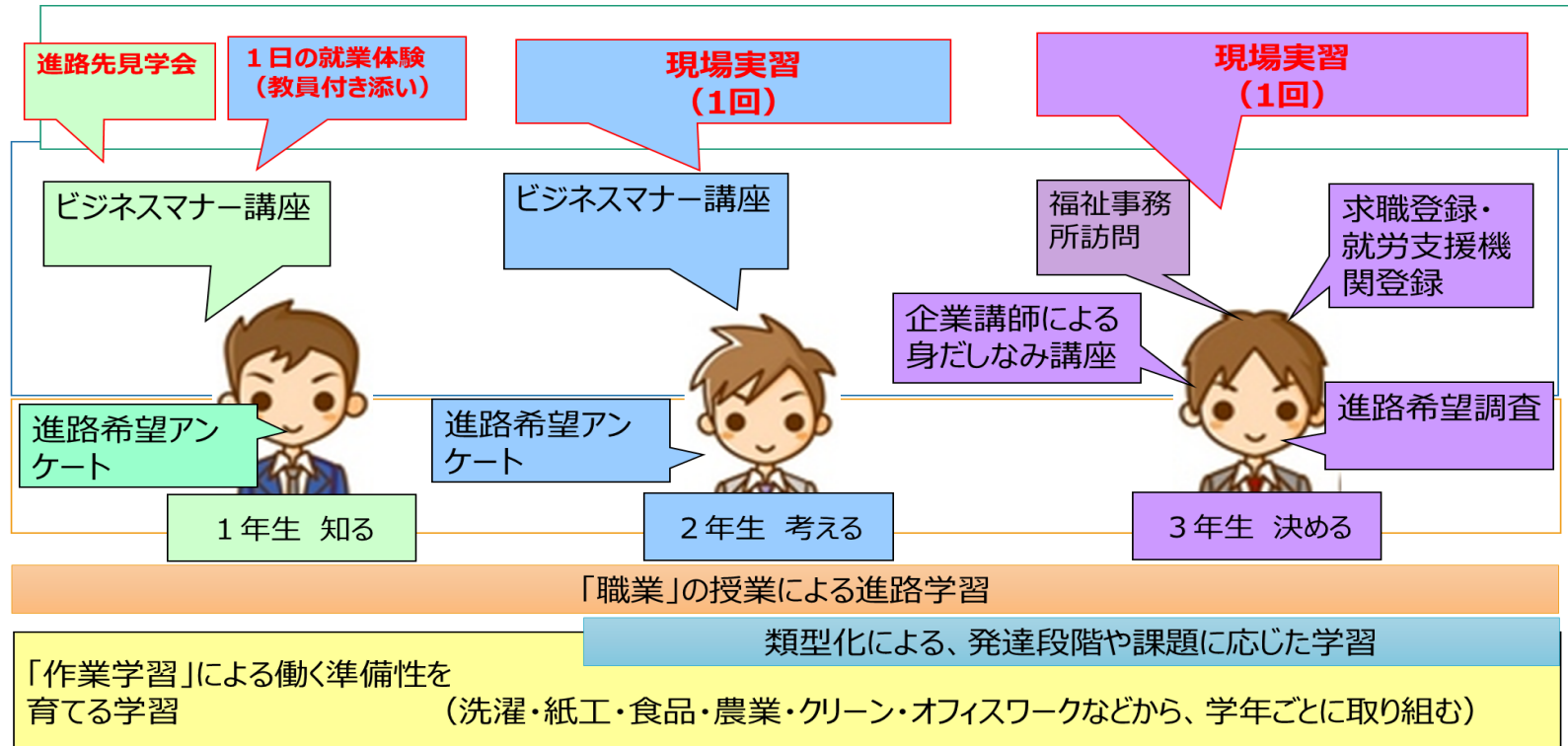


本校の進路指導

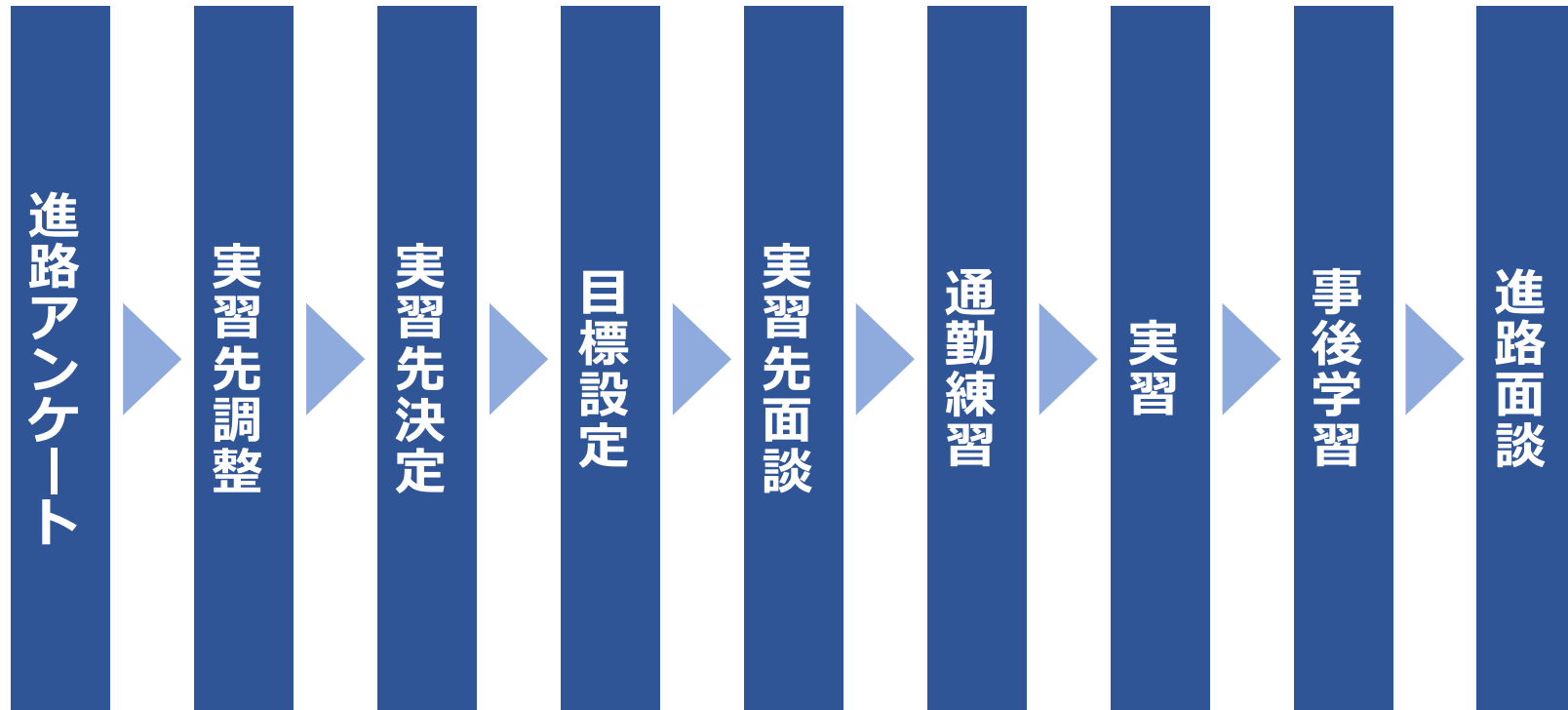


本校の進路指導

■ 進路指導の流れ



実習先の決め方



実習先の決め方

■ 進路アンケート

実習先の決めるのに、進路アンケートを行います。福祉事業所の場合は、希望する福祉サービス（生活介護、B型事業所、就労移行、A型事業所等）を記入。3年次は希望する施設名を具体的に記入をする。

■ 学校での様子

授業の様子や、日々のやり取りの中で得ることができる生徒の情報。
（「強み」であったり「課題」）

実習先の決め方

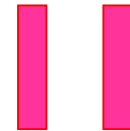
■ 進路アンケート
(生徒・保護者の思い)



■ 学校での様子
(生徒の状況)



■ 学校での様子
(担任の思い)



進路先決定

実習先の決め方

■ 実習先の決め方について

「自己選択・自己決定」のために本人、保護者の思いを優先にすることもある。

→客観的に見たら、生活介護のほうが合っている生徒であっても、B型の施設をチャレンジさせてもらうこともある。

進路を選択するための必要な**プロセス**

実習先の決め方

■ 実習先の決め方について

「自己選択・自己決定」のために本人、保護者の思いを優先にすることもある。

→実習の行い方を相談して進めていきたい。

（例） B型での実習をするには、課題が多いと思われる場合

→**5日間の実習のうち、3日間は付き添いをして実態を把握する。**

問題なければ、2日間は付き添いなしで行う。

実習先の決め方

■ 実習先の決め方

「自己選択」が原則で、希望する実習先を優先にすること。

**実習先面談が
とても重要**

→実習の

(例) B型での実習先が複数ある場合

→5日間の実習のうち、1日間は付き添いをして実態を把握する。

問題なければ、2日間は付き添いなしで行う。

卒業後のフォローについて

■ 卒業後の関り

学校を卒業したら、もう関わらないということは**ありません**。

次の方法で卒業後も支援を続けていく。

①

個別移行支援計画

②

訪問等の支援

卒業後のフォローについて

■ 個別移行支援計画

卒業後の本人の生活をどのようなものにするかを記した計画書。「本人の思い」や「必要な支援」、「関係機関」が書かれている。

このシートを基に、本校では卒業時の引継ぎを行っている。

個別移行支援計画										
令和 6 年 月 日 作成										
本人	フリガナ				性別	生年月日				
	氏名					平成	年	月	日生	
	住所				保護者氏名					
					緊急連絡先					
障害名				愛の手帳	度	(平成	年	月更新)		
				身障手帳	種	級	(平成	年	月交付)	
在籍校	東京都立板橋特別支援学校				校長名	〇〇〇〇				
	住所	〒175-0082 東京都板橋区高島平9-23-22			担任名					
	電話番号	03-5398-1221	FAX	03-5398-1224	進路担当	吉田 拓史 △△△△□□□□				
将来についての希望や願い										
本人										
保護者										
支援の目標										
必要な支援										
支援機関の支援										
医療・健康	支援機関：				担当者：			連絡先：		
	支援内容：	・主治医								
	支援期間：	()	～	()				
	支援機関：				担当者：			連絡先：		
	支援内容：									
	支援期間：	()	～	()				
福祉・労働	支援機関：				担当者：			連絡先：		
	支援内容：									
	支援期間：	()	～	()				
	支援機関：				担当者：			連絡先：		
	支援内容：									
	支援期間：	()	～	()				

卒業後のフォローについて

■ 訪問等のフォロー

卒業生のことで、気になることがあった場合。

例) 学校でどんな言葉かけをしたの？

落ち着かない時の支援方法は？ 等々

- ① 電話で相談（基本いつでも対応可）
- ② 訪問して相談（学校が夏休みの時期に旧担任が訪問）
- ③ 関係機関が集まって相談

締めのひと言

- **5年後、10年後も
笑顔ある生活のために**